



第42回定期大会発言より③

組織課題について

- ▼自分はあと十数年で退職を迎える。後輩の組合員が苦勞しないようにしたい。
- ▼この会社の労使関係に課題があると考えている。特に、会社が何をしたいのかわからない。多くの社員が不満を持っているなか、良い会社ができるのか疑問である。
- ▼声を上げていくのが労働組合だ。
- ▼秋葉原のBBQや「笑ッテクダ祭」は良い取り組みであるため、継続してほしい。
- ▼職場で集まると「組合費が高い」と言われる。少しでも組合費を値下げできないか検討してほしい。
- ▼たし選のときには本部激励～たし事務所～東中野事故慰霊碑というコースを自らつくり、職場の若手と一緒に安全を守る行動をしてきた。若手との関わりをつくるためにも、安全を東労組からつくるためにも、そのような取り組みを取り入れてほしい。
- ▼長野の伊那支店から東京支店への異動に伴い、賃金が上がると思っていたが上がらなかった。おかしいと思い、組合で動いてもらった。その結果、6月の昇給の際にこれまでの差額も含めて一括で支給された。組合に入っていない2名は当初昇給しなかったが、確認したところ上がった。組合に入っているメリットとして広めていきたい。

平和について

- ▼反戦平和について、労働組合は明確に戦争反対を貫くべきである。戦争では雇用と労働者の利益を守れない。しっかり考えなくてはならない。有事の場合、私たちが鉄道でミサイルを運ぶ可能性はゼロではない。
- ▼今日は宇都宮空襲の日である。この空襲では多くの命が奪われた。戦争で犠牲になるのは労働者、女性、子供など弱い立場の人間ばかりである。
- ▼平和研修について、沖縄以外でも例えば丸木美術館など近場での研修を検討してはどうか。

情宣活動について

- ▼新幹線協議会の情報紙「ネットワーク」は64部発行し、本部情報コンクールで表彰された。
- ▼情宣活動について、地本から発信される情報誌の中身が本部と同じようなテイストになっている。もっと情宣活動に力を入れ、東京地本の独自色を出した情報を発行できないか。
- ▼機密性のある情報もある。パスワードを設けるなどして、一般に向けた情報と組合員向けの情報で分けるなど必要ではないか。自分も何かできないか考えている。
- ▼サークル、意見交換、情宣活動が重要だと思う。



大会を成功に導いた藤田議長



手書きにこだわった沖縄平和研修報告